

令和3年度(5月実施)全国学力・学習状況調査 結果報告

国語	全国値・埼玉県値とほぼ同等。	算数	全国値・埼玉県値より僅かに下回る。
----	----------------	----	-------------------

〈 学力調査 〉

国語は埼玉県・全国ともに同等の数値。算数は埼玉県・全国の数値を僅かに下回る結果となりました。

国語では、2年前の調査で課題となっていた「記述式」の問題での改善が見られ、埼玉県・全国平均正答率に比べ約4%高い数値となっていました。「書くこと」の領域についても、約5%高い結果となっており、学年として重点的に取り組んできた成果が表れています。

一方、「話すこと・聞くこと」では埼玉県・全国の数値より約2%ほど低くなっており、特に「目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」という項目に課題が見られました。

R3	平均正答率(%)		
	本校	埼玉県	全国
国語	65	65	64.7
算数	68	69	70.2

算数では、領域別でも埼玉県・全国平均正答率の数値よりも若干下回る結果となってしまいました。特に、「測定」の領域で全国平均との差があり、今回の調査の内容では「条件に合う時刻を求めることができる」「複数の図形を組み合わせて図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる」という内容に課題が見られました。

そんな中でも、「図形」「変化と関係」の領域では、埼玉県・全国ともに同等の結果となっており、中でも「速さを求める除法の式と商の意味を理解している」「三角形の面積の求め方について理解している」という内容では、埼玉県・全国をともに上回る結果となっていました。基本となる問題について繰り返し学習した成果が見られます。

※本調査により測定できるのは、学力の一側面であることをご承知おきください。

■学校の取組

○朝の活動時間(8:25~8:40)に基礎学力の定着を図っています

基礎学力の定着を目的に週2回ほど朝の活動時間に取り組んでいます。全校、継続して取り組んでいるので、子供たちも時間になったらすぐに問題を解き始めています。

月曜日 国語:「言葉サプリ」

(漢字やことわざなど語彙力を高める問題、コバトン問題集、復習プリントなど)

水曜日 算数:「算数トレーニング」

(計算問題や文章問題、コバトン問題集、復習プリントなど)

○算数の少人数指導できめ細かい指導を行っています

算数の授業では、学級担任に少人数指導担当教員を加え、2学級の場合は3クラス、3学級の場合は4クラスに分けて指導を行ったり、習熟度別に学力に合った指導を行ったり、児童一人一人に対してきめの細かい指導を可能にした少人数指導を実施しています。

○読書タイムを設定しています

毎週金曜日の朝に「読書タイム」を設定しています。1~3年生までは図書ボランティアによる本の読み聞かせ(現在は主に録画動画視聴)、4~6年生までは図書館や家庭にある本を各教室で読書しています。語彙を増やし、読解力を高めるには読書量を増やすことが最適です。全国や県の学力調査の問題は普段学校で行っているワークテストとは形式が異なり、問題文を素早く的確に読み取っていかなければ最後の問題まで到達できません。このことは無解答率の高さに相対していると思われれます。今後読書タイムの充実をさらに図っていきたいと考えています。

○「家庭学習の手引き」を配付し、家庭とともに学力向上に取り組んでいます

児童の望ましい学習習慣や生活習慣の形成に向けて、「家庭学習の手引き」を作成し、家庭と連携を図った取組を行っています。家庭学習の時間や方法、児童へのかかわり方はもとより、学習準備やテレビの視聴時間、運動など、生活習慣の形成に係る内容等を記載するなど特色ある手引を作成していますが、定着のための取り組み方に差があり、考慮すべき点となっています。

〈 質問紙調査 〉

質問事項	選 択 肢				
	している	どちらかとい えば、している	あまりして いない	全くしていな い	
毎日、同じくらいの時刻に寝ていま すか	30.6	50.0	12.9	6.5	本校(%)
	38.3	42.9	15.5	3.2	全国(%)
毎日、同じくらいの時刻に起きてい ますか	53.2	37.1	8.1	1.6	本校(%)
	55.9	35.4	7.9	1.6	全国(%)

※ 生活のリズムを整えることはとても大切です。2年前の本校児童と比較し、「毎日同じくらいの時刻に寝ている、起きている」と答えた児童が10%以上少なくなっていました。睡眠は体の成長にも大事な要素です。不規則にならないよう、児童自身にも意識させることが必要です。

質問事項	3時間 以上	2時間 以上	1時間 以上	30分 以上	30分よ り少ない	全くしな い	
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日か ら金曜日),1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか(学習塾で勉強している時 間や家庭教師に教わっている時間,インタ ーネットを活用して学ぶ時間も含む)	12.9	12.9	33.9	25.8	9.7	
	11.6	15.3	35.6	24.5	9.5	3.5	全国(%)

※ 家に帰ってからの勉強時間は「1時間以上」の児童が約60%でした。本校「家庭学習の手引き」に明記されている「高学年は60分以上の学習」の意識をもって家庭学習に取り組んでほしいと思います。

質問事項	2時間 以上	1時間 以上	30分 以上	10分 以上	10分よ り少ない	全くしな い	
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日か ら金曜日),1日当たりどれくらいの時間, 読書をしますか(教科書や参考書,漫画や 雑誌は除く)	8.1	8.1	12.9	19.4	16.1	
	7.4	10.8	19.2	23.8	14.7	24.0	全国(%)

質問事項	ほぼ毎日読む	週1~3回	月1~3回	ほとんど、また は、読まない	
	新聞を読んでいますか	3.2	8.1	16.1	
	5.1	9.7	14.7	70.4	全国(%)

※ 家に帰ってからの読書時間も全体的に2年前の調査よりも少なくなっています。「全く読書をしない」と答えた児童も35.5%いました。「新聞を読んでいますか」においても約7割の児童が「ほとんど、または、読まない」と答えています。学校でも新聞コーナーを設置していますが、本や新聞を読む機会が減っているようです。インターネットの文を読むという機会は増えているかもしれませんが、信頼の置けるまとまった文章を読む経験を積み重ねることは、思考を育む上でとても大切です。

読書をしたり、新聞を読んだりして文章に多く触れている児童ほど正答率は高くなっています。ただ単に「読みなさい」というのではなく、読みたくなる環境を整えていけると良いです。

質問事項	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。	19.4	45.2	30.6	4.8	本校(%)
	26.7	43.6	23.8	5.9	全国(%)

※ 今年度の6年生は「書く」という領域では、良い結果が出ていました。しかし、この質問事項でも表れているとおり、自信をもって「当てはまる」と答えている児童の割合が少なくなっています。「どちらかといえば」の回答が目立ちます。自分の意見をしっかりとって、はっきりと発言できるようにしていけると良いです。

質問事項	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	
自分には、よいところがあると思いますか	30.6	41.9	21.0	6.5	本校(%)
	36.2	40.7	15.5	7.5	全国(%)

※ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の児童は本校6年生の72.5%という結果です。自分自身のよさを認め、そして相手からも認められていると感じている児童は正答率が高い傾向にあると言われています。自尊感情を育み、毎日のやる気に繋げていくことが求められます。

3割弱の児童が、自尊感情が低い結果となっています。「子供たちを育てていくのは家庭・学校・地域である」ということを意識して、大人たちが一人一人の子供たちの良さを引き出していきましょう。

質問事項	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	82.3	14.5	1.6	1.6	本校(%)
	84.1	12.7	2.2	0.9	全国(%)

※ 「いじめは絶対にいけないこと」という意識が子供たちに身に付いています。ふざけやからかいなどもいじめにつながることもふくめ、相手を思いやる気持ちをさらに育てていくことが大切です。

「どんな理由があろうといじめは絶対に許されない」という考えを意識できるようにしていきたいです。